



オープンシステムイニシアティブとオープンコアプロトコルの 国際的な提携によって TLMレイヤーの標準化を目指す

重複作業と競合を排除しながら
相互接続可能なモデリング基盤の確立を目指すパートナーシップ

カリフォルニア州サンノゼ—2004年5月31日—Open SystemC Initiative (OSCI)とOpen Core Protocol International Partnership (OCP-IP)は本日、SystemCによるトランザクションレベルモデリング (TLM)での相互接続可能なモデリング基盤を構築するという共通目標に向けて協力することを発表しました。このパートナーシップは、TLMに移行するSystemCユーザーが増加しているという事実に応えるため、またTLMのサポートに必要な言語とメカニズムの標準化に対するニーズに応えるために提携されました。

OSCIは、ハイレベルな電子システム設計のためのC++ベースのクラスライブラリであるSystemCの開発と促進に取り組んでいます。OCP-IPは「プラグアンドプレイ」型のシステムオンチップ (SoC) の設計を促進するIPコアインターフェースの標準規格の制定に取り組んでいます。OCP-IPは、OCP-IPベースの通信チャネルのトランザクションレベルモデルを実現するための主要なプラットフォームとしてSystemCを選択しました。同時に、OSCIのトランザクションレベルモデリングワーキンググループ (Transaction Level Modeling Working Group)は、標準化のためにトランザクションレベルの通信用APIを定義しています。

これら2団体は、将来的に標準OSCI API上にOCP-IPトランザクションレベルモデルを構築できるようにするために提携を結んだものです。将来を見越した共同作業により2団体は最適のソリューションを提供し、競合する規格が2つ現れる事態を回避しています。OSCIは汎用のTLM転送機能を提供を予定し、OCP-IPはこの機能を使用した特定の通信チャネルモデルの実装を予定しています。

OSCI TLMワーキンググループの作業は、ARM、CoWare、Cadence Design Systems、Calypto Design Systems、Eklektic Ally、Forte Design Systems、Fujitsu、Mentor Graphics、NEC、Philips、Summit Design、およびテュービンゲン大学など、メンバーである52団体から大きな注目を集めています。「TLMは抽象度を高め、シミュレーション性能の障壁を取り除く方法を実現するメソッドロジとして注目されています」と、OSCI会長のGuido Arnout氏は語っています。「SystemCを用いて、OSCIはシステムレベルモデリング用として業界に受け入れられた標準言語とプラットフォームを提供してきました。今回、この層の上に、TLM用の基盤とメカニズムの層をOCP-IPとともに構築することで、進化するユーザーニーズへの対応をさらに向上するつもりです」

TLMワーキンググループは初めてのデリバラブルとして、TLMレベルとメソッドロジのための一連の定義と合意された分類法を提供する予定です。この文書はワーキンググループ内で現在作成中です。また、ワーキンググループは一連のAPI、およびこれらのAPIを実装するリファレンス実装も定義する予定です。また、基礎となるTLM伝送のため、すべての層をサポートする伝送APIを開発します。

「OCP-IPは、Open Core Protocolを使用したSoCを効率的に開発する上で、トランザクションレベルモデリングを非常に重要視しています。OCP2.0 準拠の TLM は、昨年に出荷された前バージョンの数千部とともに、昨年 12 月より出荷されています。SystemC TLM に関する OCP-IP ホワイトペーパーのダウンロード数は 10,000 件に迫っています」と、OCP-IP 会長の Ian Mackintosh 氏は述べています。「OCP-IP は高品質の TLM の開発、出荷、およびサポートにおいてその実績が認められています。業界標準の TLM API とライブラリの開発に貢献することが OCP-IP の目標です」

OSCI のメンバーシップ情報や SystemC および TLM ワーキンググループの詳細については、Web サイトwww.systemc.org をご覧ください。

OCP-IP について

OCP International Partnership Association, Inc. (OCP-IP) は 2001 年 12 月に、相互接続が可能なバーチャルコンポーネントの迅速な作成と統合を保証する完全なソケット規格として、Open Core Protocol (OCP) を促進しサポートする目的で発足しました。OCP-IP の Governing Steering Committee には、Nokia、Texas Instruments、STMicroelectronics、United Microelectronics Corporation、Toshiba Semiconductor Group (Toshiba America TAEC を含む)、Sonics、およびその他の業界トップの企業が参加しています。OCP-IP は、完全に支援されたオープンライセンス方式のコアセントリックなプロトコルを初めて提供した非営利団体です。このプロトコルは、システムレベルでの統合要件を総合的に満たしています。OCP は IP コアの再利用を促進し、設計期間を短縮してリスクを軽減するだけでなく、SoC 設計に必要な製造コストも削減します。VSIA は OCP ソケットを推奨しており、OCP-IP は VSI Alliance の Adoption Group です。詳細な背景やメンバーシップ情報については、www.ocpip.org をご覧ください。

SystemC と OSCI について

Open SystemC™ Initiative (OSCI) は、システムレベルの設計と検証のためのオープンな業界標準として SystemC をサポートおよび促進することを目的とした、さまざまな企業、大学、個人などから構成される独立した非営利団体です。SystemC 言語およびそのプロトタイプである、C++ クラスライブラリのリファレンス実装は、www.systemc.org でダウンロードできます。

このニュースリリースに記載されたすべての商標および登録商標はそれぞれ各社の知的所有物です。

*OCP-IP Association, Inc.
5440 SW Westgate Drive, Suite 217, Portland, Oregon 97221 USA
Tel: 1-503-291-2560 Fax: 1-503-297-1090
E-mail: admin@ocpip.org
www.ocpip.org*